

平成 26 年度麻布大学静岡県同窓会（静岡県支部）総会報告 「今年も、校歌で締めました！！」

麻布大学静岡県同窓会（太田友三郎会長）の平成 26 年度総会及び懇親会が、7 月 13 日（日）に静岡市のクーポール会館において開催されました。

東西 180km と広い静岡県にもかかわらず、東は伊東市から西は浜松市や湖西市まで、また獣医学科の卒業生ばかりでなく全学科より 29 名の会員の皆さんが参集されました。

参加者の年代も幅広く、最高齢は昭和 33 年卒業の筒井淑郎氏でした。総会は、提出議題については満場一致で採択されましたが、11 月 8 日（土）に静岡市の日本平ホテルにて開催される第 89 回麻布獣医学会について、多くの時間が充てられました。

本年度は、大学より獣医学部獣医学科内科学第一研究室の伊東正吾先生を派遣していただきました。総会後の講演会では、伊東先生に懐かしい昔の大学風景から、現在の新しい校舎、建物について、詳しく紹介していただいた後、「養豚科学は世界を救う！？」と題して、豚がいかに人間や地球にとって有用な存在であるのか、さらに麻布の建学の精神「学理の討究と誠実なる実践」の大切さを、我々に説いていただきました。大学の発展には、教職員、学生だけでなく、卒業生がいかに社会貢献できるかにかかっていると、叱咤激励をいただきました。

その後、懇親会では先輩、後輩の隔てなく無礼講ということで楽しく過ごし、最後は、ここ数年、恒例となっている、應援團 0B の高塚聖文氏（A 昭和 62 年卒）による、麻布獣医科大学校歌、麻布大学校歌の斉唱、そして今年は寮歌を歌って中締めを行いました。

老いも若きも同窓生同士、母校同窓会の発展のために、全員で協力していこうと結束を新たにしたいときでした。

（文責：麻布大学静岡県同窓会 事務局 伊藤謙一）

